

荘内銀行ふるさと創造基金 地域貢献大賞

これまでの助成団体の中から、地域文化の普及や地域課題の解決など、豊かな地域社会の創造に向けた独自の活動を展開し、活動の継続性と発展性の面で顕著な取り組みがあった団体に贈呈しています。2012年に開始し、累計32団体に贈呈しました。

2024年度 受賞団体

庄内自然博物館構想推進協議会(鶴岡市) 特定非営利活動法人 きらりまめ・豆ネット(酒田市)

県内唯一のラムサール条約登録湿地である大山上池・下池やその周辺に位置する都沢湿地、高館山などを自然学習のフィールドに「まもる(保全)」、「学ぶ(教育)」、「つかう(利活用)」の3つの視点から活動を展開しています。環境保全活動に加え、子どもたちを対象とした観察会や学習会を多数企画し、湿地の生態系を通して生物多様性を守ることの重要性を考える機会を提供。また、地元の飲食店等と連携して駆除した外来生物を活用した商品の開発なども行っています。

湿地を市民にとって身近なものとし、環境保全への興味関心を高めるなど教育的な貢献度が高く、地域全体で自然資源を活かしたまちづくりを進める体制の構築につながっています。

酒田市豊原集落において美化活動や農業、子育て支援、高齢者福祉などを担う4つの地域ボランティア組織が、担い手不足や高齢化を補いつつ、多様な活動を行っていくため連携し、2015年に法人化。

認知症予防や地域交流を目的とした体操体験や茶話会、通学路や農道の清掃活動、除雪ボランティアなど活動は多岐にわたっており、その中でも子育て支援、高齢者支援の一環として布絵芝居や人形劇を行う「そんとき一座」の活動は、地域内の保育施設や介護福祉施設での公演が話題となり、地域外からの要請が多数寄せられ活動地域を拡大しています。

地域外から参加する会員も増えており、組織力の向上や次世代への継承を図りながら、地域外にも活動の幅を広げています。



2024年度 助成金贈呈式・交流会

当基金では、助成団体同士の交流・情報交換の機会を設けるなど、団体のネットワーク拡大も支援しています。

助成金贈呈式と同日に交流会を併催。展示ブースを設け活動のPRにお役立ていただいたほか、団体の規模や活動エリアを超えた情報交換の場としてご活用いただきました。基金を通じた交流をきっかけに、共催企画の実施や事業連携による活動エリアの拡大など、活動の発展にも貢献しています。



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

募集要項